

< 平面のベクトル場の線積分 2 >

平面上の各点 (x, y) にベクトル

$$\mathbf{F}(x, y) = (f_1(x, y), f_2(x, y))$$

が対応しているベクトル場 \mathbf{F} の中を
 曲線 C に沿って点が運動するとき
 図 1 のような場合点が \mathbf{F} によって
 受ける力の合計は前ページより

$$\int_C |\mathbf{F}| \cos \theta ds$$

であった。この線積分の具体的な
 計算方法を求めたい。時刻 t における
 点 $P(t)$ の位置ベクトルを

$$\vec{OP} = \mathbf{r}(t) = (x(t), y(t))$$

とおくと $P(t)$ における速度ベクトル

$$\mathbf{v} = \frac{d\mathbf{r}}{dt} = \left(\frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt} \right) \quad \dots (1)$$

は曲線 C の接線方向のベクトルで
 あり

$$\mathbf{t} = \frac{\mathbf{v}}{|\mathbf{v}|} \quad \dots (2)$$

は接線方向の単位ベクトルである (図 2)。このとき \mathbf{F} と \mathbf{t} の内積は

$$\mathbf{F} \cdot \mathbf{t} = |\mathbf{F}| \times |\mathbf{t}| \times \cos \theta = |\mathbf{F}| \times \cos \theta \quad \dots (3)$$

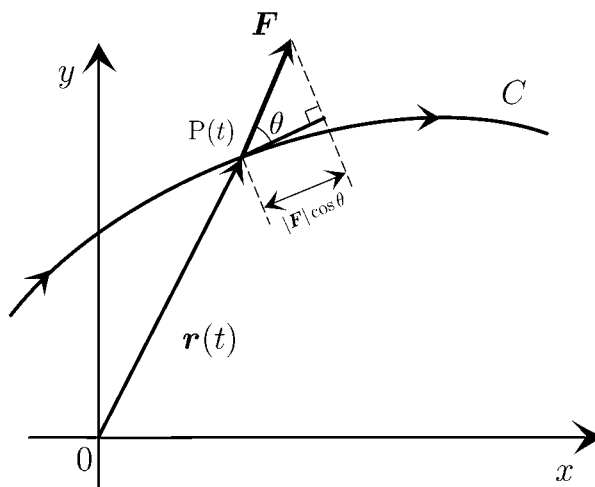
となる。一方 15 ページより

$$ds = \left| \frac{d\mathbf{r}}{dt} \right| dt = |\mathbf{v}| dt \quad \dots (4)$$

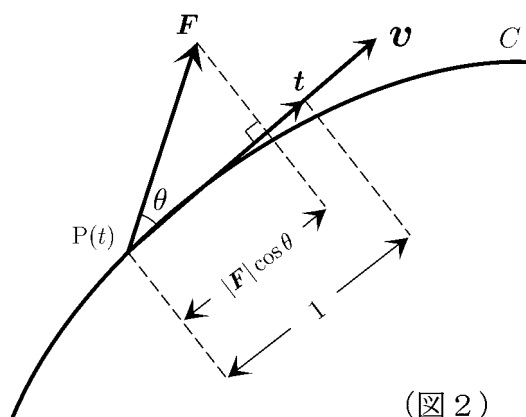
であるから (1) ~ (4) より

$$\int_C |\mathbf{F}| \cos \theta ds = \int_C \mathbf{F} \cdot \mathbf{t} |\mathbf{v}| dt = \int_C \mathbf{F} \cdot \mathbf{v} dt = \int_C \mathbf{F} \cdot \frac{d\mathbf{r}}{dt} dt$$

となる。



(図 1)



(図 2)